

農家では、できるだけ高いねだんで売れるように、ビニルハウスでさいばいし、季節をずらして作るくふうもしています。



ハウスでのきゅうりのさいばい

野さいなどの出荷量 しゅつか

昭和 59 年

品 名	生産量(t)	出か量(t)
きゅうり	1,854	1,591
とまと	899	860
白さい	1,110	360
いんげん	376	334
大 根	752	295
さやえんどう	252	220
ばれいしょ	725	186
ね ぎ	198	138
山 い も	109	59
り ん ご	129	117



とまとの しゅつか

(玉川村役場産業課調べ)

農家で作られた野さいは、農業きょうどう組合をとおして、青果市場へ運ばれ「せり」によってねだんがつけられて買いとられます。おもに東京方面へ出荷されます。

市場にはいる野さいの量でねだんがかわるので、農家の人のくろうも多くあります。

ビニル、しょうどくやく、ひりょうなどは、遠くの市や町で作られ、それを農きょうをとおして買います。

ひつようなものを買ったり、できたものを売ったりして、よその市や町ともむすびついています。



玉川村泉農きょうからの野さいの出荷 しゅつか